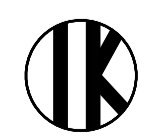

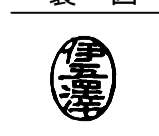


# 盛岡市立けやき荘解体工事

図面リスト								
図面番号	図面内容	縮尺	図面番号	図面内容	縮尺	図面番号	図面内容	縮尺
A 1	タイトル・図面リスト	NO SCALE	A 5 1	ボイラー室 各伏図、各リスト、ラーメン図、外部ピット断面図	S=1:30 S=1:100	E 1	屋外配線撤去図	S=1:300
A 2	建築物解体工事特記仕様書 1	NO SCALE	A 5 2	ボイラー室 煙突詳細図	S=1:50	E 2	キュービクル結線撤去図	NO SCALE
A 3	建築物解体工事特記仕様書 2	NO SCALE	A 5 3	蔵① 基礎伏図、平面図、床伏図、天井伏図、梁伏図、小屋伏図、屋根伏図、短計図	S=1:50 S=1:100	E 3	けやき荘 1 F電気設備強電撤去図	S=1:100
A 4	建築物解体工事特記仕様書 3	NO SCALE	A 5 4	蔵② 基礎伏図、平面図、床伏図、天井伏図、梁伏図、小屋伏図、屋根伏図、短計図	S=1:50 S=1:100	E 4	けやき荘 2 F電気設備強電撤去図	S=1:100
A 5	建築物解体工事特記仕様書 4	NO SCALE	A 5 5	集会所 仕上表	NO SCALE	E 5	けやき荘 1 F電気設備弱電撤去図	S=1:100
A 6	案内図・配置図（現況）	S=1:200	A 5 6	集会所 1階平面図	S=1:100	E 6	けやき荘 2 F電気設備弱電撤去図	S=1:100
A 7	けやき荘：外部仕上表	NO SCALE	A 5 7	集会所 2階平面図	S=1:100	E 7	ボイラー室 電気設備撤去図	S=1:50
A 8	けやき荘 内部仕上表	NO SCALE	A 5 8	集会所 立面図	S=1:100	E 8	蔵① 電気設備撤去図	S=1:50
A 9	けやき荘 平面図	S=1:200	A 5 9	集会所 矩形図	S=1:5 S=1:30	E 9	集会所 1 F電気設備強電撤去図	S=1:75
A 10	けやき荘 B棟：厨房増築平面図、仕上表 矩形図、小屋伏図、倉庫棚詳細図	S=1:30 S=1:50 S=1:100 S=1:200	A 6 0	集会所 2階ホール平面詳細図、階段詳細図、鉄骨階段詳細図、各部詳細図	S=1:10 S=1:20 S=1:30 S=1:50	E 10	集会所 2 F電気設備強電撤去図	S=1:75
A 11	けやき荘 D棟：平面図	S=1:50	A 6 1	集会所 天井伏図	S=1:100	E 11	集会所 1 F電気設備弱電撤去図	S=1:75
A 12	けやき荘 立面図 1	S=1:200	A 6 2	集会所 1階床伏図、2階床伏図、2階屋根伏図	S=1:100	E 12	集会所 2 F電気設備弱電撤去図	S=1:75
A 13	けやき荘 立面図 2	S=1:200	A 6 3	集会所 平面詳細図 1、展開図 1、詳細図、各部断面図	S=1:30 S=1:50	E 13	作業小屋 電気設備撤去図	S=1:50
A 14	けやき荘 立面図 3	S=1:100	A 6 4	集会所 平面詳細図 2、展開図 2、各部詳細図	S=1:30 S=1:50	E 14	車庫 電気設備撤去図	S=1:25
A 15	けやき荘 矩形図	S=1:10 S=1:20 S=1:30	A 6 5	集会所 平面詳細図 3、展開図 3、各部断面図	S=1:20 S=1:30 S=1:50			
A 16	けやき荘 階段詳細図	S=1:20 S=1:50	A 6 6	集会所 平面詳細図 4、展開図 4、各部断面図	S=1:5 S=1:30	M 1	衛生設備屋外配管図	S=1:200
A 17	けやき荘 2階木造床伏図、EXP.J詳細図	S=1:10 S=1:20 S=1:30 S=1:200	A 6 7	集会所 平面詳細図 5、展開図 5、各部詳細図	S=1:5 S=1:30	M 2	衛生設備機器表・管種凡例	NO SCALE
A 18	けやき荘 天井伏図	S=1:200	A 6 8	集会所 平面詳細図 6、展開図 6、各部詳細図、各部断面図	S=1:20 S=1:50	M 3	けやき荘 1階衛生・換気設備平面図	S=1:100
A 19	けやき荘 屋根伏図、タラップ・ボンベ置場詳細図	S=1:20 S=1:30 S=1:200	A 6 9	集会所 建具KEY PLAN	S=1:100	M 4	けやき荘 2階衛生設備平面図	S=1:100
A 20	けやき荘 A棟：屋根伏図、屋根詳細図、手摺配置図	S=1:10 S=1:30 S=1:50 S=1:200	A 7 0	集会所 建具表 1	S=1:50	M 5	けやき荘 A棟 1、2階便所平面詳細図	S=1:50
A 21	けやき荘 B・C・D棟：裏り廊下：屋根伏図、手摺配置図、断面詳細図、断面図	S=1:10 S=1:30 S=1:50 S=1:200	A 7 1	集会所 建具表 2	S=1:50	M 6	けやき荘 B、C棟 1、2階便所平面詳細図	S=1:50
A 22	けやき荘 D棟：平面詳細図	S=1:50	A 7 2	集会所 建具表 3	S=1:50	M 7	けやき荘 D棟バスルーム平面詳細図 B棟厨房機器平面詳細図 B棟厨房機器表	S=1:50
A 23	けやき荘 B・C・D棟：屋根伏図	S=1:200 S=1:500	A 7 3	集会所 基礎伏図	S=1:100			
A 24	けやき荘 D棟：鉄骨置屋根詳細図、小屋伏図、立面図	S=1:30 S=1:200	A 7 4	集会所 基礎リスト、地中梁リスト	S=1:40	M 8	けやき荘 1階暖房設備平面図	S=1:100
A 25	けやき荘 展開図 1、詳細図	S=1:30 S=1:50	A 7 5	集会所 1階柱リスト、2階柱リスト	S=1:30	M 9	けやき荘 2階暖房設備平面図	S=1:100
A 26	けやき荘 平面詳細図 1、展開図 2	S=1:20 S=1:30 S=1:50	A 7 6	集会所 2階梁伏図、R階梁伏図	S=1:100	M 10	けやき荘 1階冷房設備平面図	S=1:100
A 27	けやき荘 平面詳細図 2、展開図 3	S=1:10 S=1:30 S=1:50	A 7 7	集会所 大梁リスト	S=1:30	M 11	集会所 1、2階衛生設備平面図	S=1:100
A 28	けやき荘 平面詳細図 3、展開図 4	S=1:50	A 7 8	集会所 スラブリスト、小梁リスト、その他リスト	S=1:30	M 12	集会所 1、2階便所平面詳細図	S=1:50
A 29	けやき荘 鋼製建具KEY PLAN	S=1:200	A 7 9	集会所 3通りラーメン図	S=1:30	M 13	集会所 1、2階暖房設備平面図	S=1:100
A 30	けやき荘 鋼製建具表 1	S=1:50	A 8 0	作業小屋 仕上表	NO SCALE	M 14	作業小屋 1、2階暖房、衛生設備平面図	S=1:100
A 31	けやき荘 鋼製建具表 2	S=1:50	A 8 1	作業小屋 平面図、天井伏図	S=1:100	M 15	ボイラー室 平面詳細図・機器表 屋外ピット内配管図	S=1:50 S=1:100
A 32	けやき荘 木製建具KEY PLAN	S=1:200	A 8 2	作業小屋 立面図	S=1:100	M 16	地下貯油槽詳細図	NO SCALE
A 33	けやき荘 木製建具表	S=1:50	A 8 3	作業小屋 1階平面詳細図	S=1:30			
A 34	けやき荘 A・B・C・D棟：基礎伏図、基礎リスト、地中梁リスト 1	S=1:30 S=1:40 S=1:50 S=1:200	A 8 4	作業小屋 展開図 1	S=1:50			
A 35	けやき荘 A・B・C・D棟：基礎伏図、基礎リスト、地中梁リスト 2	S=1:30 S=1:40 S=1:50 S=1:200	A 8 5	作業小屋 展開図 2	S=1:50			
A 36	けやき荘 A棟：基礎伏図、基礎リスト、地中梁リスト 3	S=1:40 S=1:50 S=1:200	A 8 6	作業小屋 断面図 1	S=1:30			
A 37	けやき荘 A・B・C・D棟：2階梁伏図、R階梁伏図	S=1:200	A 8 7	作業小屋 断面図 2	S=1:30			
A 38	けやき荘 A・B・C棟：2階大梁KEYPLAN、R階大梁KEYPLAN、大梁リスト	S=1:40 S=1:300	A 8 8	作業小屋 建具KEY PLAN、建具表	S=1:50			
A 39	けやき荘 A・B・C棟：2階小梁357' KEYPLAN、R階小梁357' KEYPLAN、小梁357' リスト、壁リスト	S=1:30 S=1:40 S=1:400	A 8 9	作業小屋 各伏図、断面図	S=1:30 S=1:100			
A 40	けやき荘 A・B・C棟：1階柱リスト	S=1:20	A 9 0	車庫 平面図、立面図、基礎伏図、小屋伏図、断面図	S=1:20 S=1:50			
A 41	けやき荘 A・B・C棟：2階柱リスト	S=1:20	A 9 1	施設看板撤去位置図・外構配置図・部分詳細図	S=1:50 S=1:200			
A 42	けやき荘 A・B・C棟：ラーメン図 1	S=1:30	A 9 2	外構撤去詳細図 1	S=1:30 S=1:50 S=1:100			
A 43	けやき荘 A・B・C棟：ラーメン図 2	S=1:30	A 9 3	外構撤去詳細図 2	S=1:20 S=1:50 S=1:100 S=1:200			
A 44	けやき荘 A・B・C・D棟：基礎伏図、D棟：基礎詳細図	S=1:50 S=1:200	A 9 4	樹木撤去図	S=1:200			
A 45	けやき荘 D棟：壁伏図	S=1:50	A 9 5	自然石等撤去図	S=1:200			
A 46	けやき荘 A・B・C・D棟：2階梁伏図、R階梁伏図	S=1:200	A 9 6	仮設計画図	S=1:50 S=1:200			
A 47	けやき荘 D棟：軸組図 1	S=1:100	A 9 7	案内図・配置図（解体後） 敷地内侵入防止詳細図（木柵）	S=1:200 S=1:30			
A 48	けやき荘 D棟：軸組図 2	S=1:100						
A 49	ボイラー室 平面詳細図、立面図、矩形図、展開図	S=1:30 S=1:50 S=1:100						
A 50	ボイラー室 建具KEY PLAN、建具表	S=1:50 S=1:200						

工事名	盛岡市立けやき荘解体工事	 1級建築士事務所 <b>伊五沢設計</b> 有限会社 1級建築士登録 第285024号 伊五澤 和宣 盛岡市みたけ四丁目8番4号 TEL 019-(641)-5755	検 図 	製 図 	特記 一級建築士 登録第306953号 伊五澤 直樹	図面内容	タイトル・図面リスト	縮尺	NOSCALE	図面番号	A 97	A 1
										枚ノ内	区分	建築意匠

工事名	盛岡市立けやき荘解体工事	特記仕様書
I. 工 事 概 要		
1. 工事場所	盛岡市上太田細工4番	
用途地域	市街化調整区域	防火地域等：指定なし
2. 敷地面積	8,024.91㎡	
3. 工事規模	1. 解体：けやき荘：RC造2階建 1,494.17㎡, 2. ｶﾞｲｰ室：RC造1階建 81.00㎡ 3. 解体：蔵①：土蔵造2階建 33.04㎡, 4. 蔵②：土蔵造2階建 138.84㎡	
5. 解体：集会所	RC造2階建 550.25㎡, 6. 作業小屋：W造2階建 158.84㎡	
7. 解体：車庫	W造1階建 44.55㎡, 8. 解体：付属棟一式（外構配置図・外構詳細図参照）	
9. 解体：樹木一式（樹木撤去図参照）	10. 解体：自然石一式（自然石等撤去図参照）	
11. 整地一式（再生砕石敷：8,024.91㎡ t=100）	12. 上記解体に伴う電気設備工事一式・機械設備工事一式	
4. 工事範囲	けやき荘敷地内建物解体（付属棟含む）、樹木撤去、自然石等撤去、整地（対象建築物竣工年 昭和49・50・51（築52・51・50年））	
5. その他		
6 別 途 工 事		

II 建 築 工 事 仕 様

1. 共通仕様  
 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。  
 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2. 特記仕様  
 1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。ただし、【共通】特記仕様書の項目については全て適用することを原則とすることから、○印は付けない。  
 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。  
 なお、【共通】特記仕様書の特記事項は、○印のついたものを適用するが、選択肢が無い事項については、内容そのものを適用とすることを原則とする。  
 3) 特記事項に記載の「」及び「」内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章 項 目	特 記 事 項																																																												
1 一般事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督員に報告の上、指示に従うこと。</li> <li>○ 受注者は、監督員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。</li> <li>○ 施工体系図を現場に掲示すること。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、壁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督員に提出すること。</li> </ul> </li> </ul> 調査範囲 ※ 図示																																																												
2 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工事写真撮りガイドブック&lt;建築工事編&gt;及び解体工事編&gt; (最新版)</li> <li>○ 建築工事監理指針 (最新版)</li> </ul> (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)																																																												
3 電気保安技術者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適用する ※ 適用しない [1.3.3]</li> </ul>																																																												
4 技能士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。</li> <li>※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>工 事 種 目</th> <th>技能検定職種(技能検定作業)</th> </tr> <tr> <td>以下の該当工事</td> <td>・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て</td> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・ とび(とび作業)</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・ 型枠施工(型枠工事作業)</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>・ とび(とび作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 鉄工(構造物鉄工作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック・見出し</td> <td>・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業)</td> </tr> <tr> <td>射出成形セメント板工事</td> <td>・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・ 防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アクリルシート防水工事作業 ・FRP防水工事作業)</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・ 石材施工(石張り作業)</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>・ タイル張り(タイル張り作業)</td> </tr> <tr> <td>木工工事</td> <td>・ 建築大工(大工工事作業)</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>・ 建築板金(内外装板金作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ かわらぶき(かわらぶき作業)</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>・ 内装仕上施工(鋼製地下工事作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 建築板金(内外装板金作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ハルコニー施工(金属バルコニー工事作業)</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>・ 左官(左官作業)</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ガラス施工(ガラス工事作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>・ カーテンウォール施工(金属製カーテンウォール工事作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ガラス施工(ガラス工事作業)</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>・ 塗装(建築塗装作業)</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>・ 内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業)</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>・ 配管(建築配管作業)</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>・ 路面標示施工(・溶融ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマーカ工事作業)</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・ 造園(造園工事作業)</td> </tr> </table>	工 事 種 目	技能検定職種(技能検定作業)	以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て	仮設工事	・ とび(とび作業)	鉄筋工事	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業)	コンクリート工事	・ 型枠施工(型枠工事作業)	鉄骨工事	・ とび(とび作業)		・ 鉄工(構造物鉄工作業)	コンクリートブロック・見出し	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業)	射出成形セメント板工事	・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)	防水工事	・ 防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アクリルシート防水工事作業 ・FRP防水工事作業)	石工事	・ 石材施工(石張り作業)	タイル工事	・ タイル張り(タイル張り作業)	木工工事	・ 建築大工(大工工事作業)	屋根及びとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業)		・ かわらぶき(かわらぶき作業)	金属工事	・ 内装仕上施工(鋼製地下工事作業)		・ 建築板金(内外装板金作業)		・ ハルコニー施工(金属バルコニー工事作業)	左官工事	・ 左官(左官作業)	建具工事	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)		・ ガラス施工(ガラス工事作業)		・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)	カーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工(金属製カーテンウォール工事作業)		・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)		・ ガラス施工(ガラス工事作業)	塗装工事	・ 塗装(建築塗装作業)	内装工事	・ 内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業)	排水工事	・ 配管(建築配管作業)	舗装工事	・ 路面標示施工(・溶融ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマーカ工事作業)	植栽工事	・ 造園(造園工事作業)
工 事 種 目	技能検定職種(技能検定作業)																																																												
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て																																																												
仮設工事	・ とび(とび作業)																																																												
鉄筋工事	・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業)																																																												
コンクリート工事	・ 型枠施工(型枠工事作業)																																																												
鉄骨工事	・ とび(とび作業)																																																												
	・ 鉄工(構造物鉄工作業)																																																												
コンクリートブロック・見出し	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業)																																																												
射出成形セメント板工事	・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)																																																												
防水工事	・ 防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アクリルシート防水工事作業 ・FRP防水工事作業)																																																												
石工事	・ 石材施工(石張り作業)																																																												
タイル工事	・ タイル張り(タイル張り作業)																																																												
木工工事	・ 建築大工(大工工事作業)																																																												
屋根及びとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業)																																																												
	・ かわらぶき(かわらぶき作業)																																																												
金属工事	・ 内装仕上施工(鋼製地下工事作業)																																																												
	・ 建築板金(内外装板金作業)																																																												
	・ ハルコニー施工(金属バルコニー工事作業)																																																												
左官工事	・ 左官(左官作業)																																																												
建具工事	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)																																																												
	・ ガラス施工(ガラス工事作業)																																																												
	・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)																																																												
カーテンウォール工事	・ カーテンウォール施工(金属製カーテンウォール工事作業)																																																												
	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)																																																												
	・ ガラス施工(ガラス工事作業)																																																												
塗装工事	・ 塗装(建築塗装作業)																																																												
内装工事	・ 内装仕上施工(・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業)																																																												
排水工事	・ 配管(建築配管作業)																																																												
舗装工事	・ 路面標示施工(・溶融ペイントマーカ工事作業 ・加熱ペイントマーカ工事作業)																																																												
植栽工事	・ 造園(造園工事作業)																																																												

5. 提出書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工事工程表</li> <li>○ 現場代理人、主任技術者等届</li> <li>○ 火災保険加入契約書(写)</li> <li>○ 請負代金内訳書</li> <li>○ 出来高検査願</li> <li>○ 施工体制台帳(写)</li> <li>○ 工事完成届</li> <li>○ 工事完成引渡書</li> </ul>
共通、特記仕様書等に定められている主な提出書類	
(契約後)	○ 工事総合施工計画書
(契約後)	○ 各種工事施工計画書
(契約後)	○ 各種工事施工図
(工事中)	○ 工事作業日報
(工事中)	○ 主要資材規格又は品質証明書
(工事中)	○ 各種試験成績書又は報告書
(工事中)	○ 主要資材搬入検査願
(工事中)	○ 施工体制台帳(写)
(完成後)	○ 完成図
(完成後)	○ 責任施工保証書
(完成後)	○ 各種届出書等
(完成後)	○ 官公署認可及び検査済証
(完成後)	○ 取扱説明書(設備機器説明含む)

1. 仮囲い	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 設ける(位置、延長等は図示)</li> <li>○ 万能鋼板(H=2.0m)</li> <li>○ 波形状鉄板(H= )</li> <li>○ 単管シート(H= )</li> <li>○ 防音シート(H= )</li> <li>○ 防音パネル(H= )</li> <li>○ パネルゲート(W= ) H= ) × 箇所</li> <li>○ キャスターゲート(W=6.0m H=1.8m) × 1箇所</li> <li>・ 設けない</li> </ul>
2. 騒音、防塵等の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 設ける(適用範囲、高さ等は図示) [2.2.1]</li> <li>・ 防音パネル</li> <li>・ 防音シート</li> <li>○ 養生シート</li> <li>・ 設けない</li> </ul>
3. 交通誘導員	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 配置する(263日 × 2人 =526人日)</li> <li>・ 配置しない</li> </ul>
4. 監督職員事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 設けない(請負者事務所と打合せ会議室を確保する)</li> <li>・ 設ける(規模 m程度 請負者事務所と同様 ・可 ・否) [2.3.1]</li> </ul>

5. 工事用水	<ul style="list-style-type: none"> <li>構内既存の施設 ※ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)</li> <li>・ 利用できない(※ 監督員と協議による)</li> </ul>
6. 工事用電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>構内既存の施設 ※ 利用できる(※ 有償 ・ 無償)</li> <li>・ 利用できない(※ 監督員と協議による)</li> </ul>
7. 工事用通路	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 指定しない</li> <li>・ 指定する(図示)</li> </ul>
8. 足場等	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部足場 ○ 設置する (設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 &lt;2.2.4&gt;)</li> <li>・ 設置しない &lt;2.2.1&gt;</li> <li>防護シート ○ 設置する (設置範囲 ○ 工事に必要な範囲)</li> <li>・ 設置しない</li> <li>内部足場 ○ 設置する (※ 脚立、足場板等)</li> <li>・ 設置しない</li> </ul>
9. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料、撤去材等の運搬方法</li> <li>種別(・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・E種)</li> <li>C種：利用可能なエレベーター ( )</li> <li>D種：利用可能な階段 ( )</li> <li>足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</li> <li>○ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。</li> <li>○ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。</li> <li>○ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。</li> <li>○ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。</li> </ul>

1. 解体工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。</li> <li>※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準(建設リサイクル法規則第2条)」による。</li> </ul>
2. 施工計画書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督員に提出し、承諾を得ること。 [1.2.1~2]</li> </ul>
3. 杭	<ul style="list-style-type: none"> <li>杭の解体</li> <li>○ 行う(※杭頭から mまで ○全長)</li> <li>杭の解体工法</li> <li>○ 引き抜き工法(・ 振動 ○ ケーシング)</li> <li>・ 粉砕による解体</li> </ul>
4. 樹木等	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木の伐採伐根 ○ 行う(図示による)</li> <li>樹木の移植 ○ 行う(図示による)</li> </ul>

5. 地下埋設物の埋設配管	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下埋設物及び埋設配管の解体</li> <li>○ 行う(図示による)</li> </ul>	[3.12.1]
6. 解体後の整地	<ul style="list-style-type: none"> <li>解体後の埋戻し及び盛り土</li> <li>○ 行う</li> <li>埋戻し及び盛り土の材料 (3.2.3)(表3.2.1)</li> <li>○ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種</li> <li>・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの(粒径40mm以下)を使用する。</li> <li>埋戻し範囲 ・ 図示による</li> <li>C種の場合</li> <li>建設発生土受入れ量 m3</li> <li>発生場所</li> <li>受入条件</li> <li>整地の高さ ・ 現状G L ○ 図示による</li> </ul>	[3.13.1]

4. 処分に注意を要する建設廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>種 類</li> <li>処理施設名称等</li> <li>所在地(Km)</li> <li>備考</li> </ul>	[4.5.1]
1. 処分に注意を要する建設廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CCA処理木材</li> <li>・ ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード</li> </ul>	

5. 石綿含有建材の除去工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工調査</li> <li>※ 石綿含有建材の事前調査</li> <li>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。</li> <li>調査範囲(○全棟 ・ 図示)</li> <li>貸与資料(石綿分析結果報告書)</li> <li>・ 分析による石綿含有建材の調査</li> <li>分析対象</li> <li>アクチノライト、アモサイト、アンソファライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト</li> <li>分析方法</li> </ul>	[6.1.3]
----------------	---	---------

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	JIS A 1481 または JIS A 1481-2	JIS A1481-3または JIS A 1481-4
・	・ 箇所	・ 箇所
・	・ 箇所	・ 箇所
・	・ 箇所	・ 箇所
サンプル数	1箇所あたり3サンプル	
採取箇所	・ 図示	

○ 石綿粉じん濃度測定	測定時期、場所及び	[6.1.4]
適用	測定名称	測定時期
・ 測定1	処理作業前	処理作業室内
・ 測定2		調査対象室外部の付近
・ 測定3		処理作業室内
・ 測定4		セキュリティゾーン入口
・ 測定5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)
○ 測定6		処理作業室内
○ 測定7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内
○ 測定8	処理作業後シート	処理作業室内
○ 測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近
測定方法	自動測定器による測定	
測定名称	測定方法	
・ 測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター	試料の吸引流量(L/min)
・ 測定5	繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	試料の吸引時間(min)

・ JIS K 3850-11に基づいた測定	測定名称	測定方法
・ 測定4	メンブレン	25
・ 測定5	フィルタ直径(mm)	5
・ 測定		10
・ 測定		10
・ 測定		240

石綿含有建材の処理	[6.3.1] [6.3.2] [6.3.3] [6.3.4]
○ 石綿含有吹き付け材の除去	
除去対象範囲	○ 図示
除去工法	・ 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置
	※ 湿潤化 ・ 固化
除去した石綿含有吹き付け材等の処分	
○ 埋立処分(管理型最終処分場)	
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	
○ 石綿含有保温材等の除去	[6.4.1]
除去対象範囲	○ 図示
除去工法	・ 破砕して除去 ○ 手ばらし
除去した石綿含有保温剤等の飛散防止	[6.4.2]
※ 湿潤化 ・ 固化	
除去した石綿含有保温材等の処分	[6.4.3]
・ 埋立処分(管理型最終処分場)	
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	
石綿含有成形板の除去	[6.5.1]
除去対象範囲	・ 図示
除去した石綿含有成形板の処分	[6.5.4]
○ 石綿含有せっこうボード	
※ 埋立処分(管理型最終処分場)	
○ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板	
※ 埋立処分(安定型最終処分場)	
※ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	

石綿含有建材等調査結果(設計業務委託時)				
調査日 令和5年8月1日、2日、25日				
試料No.	調査試料名称	調査箇所	含有の有無	石綿等の種類
1	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ吹付け	けやき荘(外壁)外壁	有	ｸﾘｽﾀﾙ
2	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ吹付け	けやき荘(外壁)外壁	無	
3	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ吹付け	けやき荘(C棟)外壁	無	
4	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ吹付け	けやき荘(D棟)外壁	無	
5	ﾌﾙｷﾞﾌﾞ ｸﾞｰﾄﾞ ｴ=4.0	けやき荘(D棟)軒天	有	ｸﾘｽﾀﾙ
6	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ吹付け	けやき荘(D棟)内装	無	
7	ｼﾞｭﾙﾌﾞ壁 ｴ=1.0	けやき荘(D棟)内装	無	
8	難燃内装合板 ｴ=5.5	けやき荘(D棟)内装	無	
9	ﾌﾞﾗｯﾄﾞ吹付け	けやき荘(B棟)内装	無	
10	石膏ｶﾞｰﾄﾞ ｴ=9	けやき荘(D棟)天井	無	
11	ｸﾞﾗｯﾄﾞ ｴ=12	けやき荘(D棟)天井	無	
12	難燃内装合板 ｴ=5.5	車庫 天井	無	
13	セﾁｭｰﾘﾝｸﾞ吹付け	車庫 外壁	無	
14	ﾌﾗｸﾞｶﾞｰﾄﾞ ｴ=9	車庫 天井	無	
15	セﾁｭｰﾘﾝｸﾞ吹付け	作業小屋 外壁	無	
16	石膏ｶﾞｰﾄﾞ ｴ=9	作業小屋(A室)内装	無	
17	石綿ｶﾞｰﾄﾞ ｴ=3	作業小屋(A室)内装	有	ｸﾘｽﾀﾙ
18	ﾌﾞﾘｯﾄ石膏ｶﾞｰﾄﾞ ｴ=9	作業小屋(B室)内装	無	
19	ﾌﾞﾘｯﾄ石膏ｶﾞｰﾄﾞ ｴ=9	作業小屋(A室)天井	無	
20	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ吹付け	集会所 外壁	無	
21	大平板	集会所 軒天	有	ｸﾘｽﾀﾙ, ｱﾓサイト
22	ﾋﾞｰﾐﾝｸﾞ ｴ=2	集会所(湯沸室)床	有	ｸﾘｽﾀﾙ
23	ﾌﾞﾗｯﾄﾞ吹付け	集会所(湯沸室)内装	無	
24	ﾌﾞﾗｯﾄﾞ吹付け+ｸﾞﾗｽ	集会所(階段)内装	無	
25	京ｼﾞｭﾙﾌﾞ壁 ｴ=1.0	集会所(紙巻室)内装	無	
26	石膏ｶﾞｰﾄﾞ ｴ=9	集会所(廊下)天井	無	
27	ﾌﾞﾗｯﾄﾞ吹付け	集会所(集会所)天井	有	ｸﾘｽﾀﾙ
28	杉板 ｴ=18	集会所(集会所)天井	無	
29	断熱材(水腫り珪藻土)	ｶﾞｲｰ室	有	ｱﾓサイト
30	配管工事	ｶﾞｲｰ室	有	ｱﾓサイト
31	保温材(水腫り珪藻土)	ｶﾞｲｰ室	有	ｸﾘｽﾀﾙ, ｱﾓサイト
32	建具周囲油性ｺｰｷﾝｸﾞ材	けやき荘(B棟)	有	ｸﾘｽﾀﾙ, ｱﾓサイト
33	建具周囲油性ｺｰｷﾝｸﾞ材	作業小屋	有	ｸﾘｽﾀﾙ, ｱﾓサイト
34	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ吹付け	ｶﾞｲｰ室 外壁	無	
35	ｼｰﾘﾝｸﾞ材PCB	けやき荘(A・B・C・D棟)集会所、作業小屋	無	
36	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ系目地材	けやき荘 EXP. j	みなし含有	
37	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ防水+均し ｴ=9	けやき荘(A棟)屋上防水	みなし含有	
38	ﾌﾌﾌﾌﾌﾌ防水+均し ｴ=9	けやき荘(A・B・C棟)便所	みなし含有	
39	陶器取付口部油性ｺｰｷﾝｸﾞ材	作業小屋	みなし含有	

※石綿含有建材等・・・石綿含有建材、PCB含有建材を言う。

6章 石綿含有建材の除去等

1. 石綿含有建材の除去 (6.3.2~3)

- 石綿含有吹付け材の除去
  - 除去対象範囲 ・図示による
  - 除去工法 ※6.3.2(1)による
  - 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
    - ※湿潤化 ・固形化
  - 除去した石綿含有吹付け材等の処分
    - ・埋立処分(管理型最終処分場)
    - ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
- 石綿含有保温材等の除去 (6.4.1)
  - 除去対象範囲 ・図示による
  - 除去工法 ・切断又は破碎して除去 ・手ばらし
  - 除去した石綿含有保温材等の飛散防止
    - ※湿潤化 ・固形化
  - 除去した石綿含有保温材等の処分
    - ・埋立処分(管理型最終処分場)
    - ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
- 石綿含有成形板等の除去 (6.5.1) (6.5.3)
  - 飛散防止の養生
    - ・行う(養生シート)
    - ・行わない
  - 除去対象範囲 ・図示による
  - 除去した石綿含有成形板等の処分
    - ・石綿含有せっこうボード
      - ※埋立処分(管理型最終処分場)
    - ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等
      - ・埋立処分(安定型最終処分場)
      - ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
- 石綿含有仕上げ塗材の除去 (6.6.1~6.6.4)
  - 除去対象範囲 ・図示
  - 石綿含有仕上げ塗材の除去工法
    - ・電気グラインダー工法(湿潤化)
    - ・高圧洗浄工法
  - 除去した石綿含有仕上げ塗材(汚泥)の処理
    - ・埋立処分(管理型最終処分場)

7章 特殊な建設副産物の処理

1. 施工計画調査 (7.1.3)

特殊な建設副産物の調査に基づき処理計画を定め、施工計画書を監督職員に提出する。

特殊な建設副産物	種類、製造所、製造年、型式等等	使用箇所
・フロン、ハロン		
・六ふっ化硫黄ガス		
・PFOS		
・特定化学物質		
・分析調査	・行う ・行わない	

2. 特殊な建設副産物の処理等 (7.3.1)

特殊な建設副産物	処理及び回収等
・冷媒フロン	※登録を受けた回収業者に回収委託
・建材用断熱フロン	※焼却による破壊処理可能な処理施設
・ハロン	※ハロン消火設備設置業者等に処理委託
・イオン化式感知器	※法令に基づき製造業者等に処理委託
・六ふっ化硫黄ガス	※製造業者等に処理委託
・PFOS	※廃棄物処理業者に処理委託
・特定化学物質	※関係法令に基づき、処理業者に処理委託

電気設備

① 撤去

※特記なき部分は建築物解体特記仕様書と併せて適用する。

1. 一般事項  
撤去前に内容物(発電設備燃料等)の回収を要する機器、配管等の処置  
・事前に回収し、洗浄等の処置を行う

② 撤去

※ 図示された機器類、配管配線、ケーブルの解体を行う。  
(地下埋設物、埋設配管を含む)

※ 下記の廃棄物等及び機器類は内外装材の解体前に取外し回収する。  
これ以外の配管配線、機器類はコンクリート及び配管配線、機器類はコンクリート及び内外装材と同時に解体してよい。

1) 廃棄物等  
再資源化を図るもの  
・ 小型二次電池  
○ 蛍光灯及びHIDランプ(水銀リサイクル共)  
・  
特別管理産業廃棄物  
・ アスベスト含有材( )  
・ PCB含有機器(・蛍光灯安定器・変圧器 )  
・ 廃油( )  
・ 廃アルカリ(・アルカリ蓄電池 )

特殊な建設副産物  
○ イオン化式感知器  
・ 六ふっ化硫黄(SF6)ガス(・ガス絶縁開閉器 )

2) 機器類  
○ 受変電盤  
・ 直流電源装置  
・ 発電装置  
・

機械設備

① 一般事項

② 撤去

※特記なき部分は建築物解体特記仕様書と併せて適用する。

○撤去前に内容物(冷媒・吸収液・廃油等)の回収を要する機器、配管等の処置  
○事前に回収し、洗浄等の処置を行う

○官公署への手続き等  
工事の着手、施工にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。

種別	手続等
○貯油槽	※廃止届
・給水装置	※廃止届
○排水設備	※廃止届
・都市ガス設備	※廃止届
○ボイラー	※廃止届
・浄化槽	※廃止届
・昇降機	※廃止届

・ 廃酸・廃アルカリ処分  
吸収冷凍機、吸収冷温水機等の撤去前に臭化リチウム水溶液の抜き取りを行う。ただし、抜取費用は(・本工事・別途)とする。

・ ダイオキシン類処理  
焼却炉等の撤去前に残灰よりサンプリング調査を行い、監督職員に報告する。ただし、サンプリング費用は(・本工事・別途)とする。

○ 廃油処理  
地下貯油槽、オイルサービスタンク、油配管等は撤去前に内部清掃を行う。ただし、内部清掃、洗浄油の回収費用は(○本工事・別途)とする。

○ 冷媒(フロン類)の回収  
冷凍機、パッケージ形空調機等の撤去に伴う冷媒回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により適切に行うこと。  
ただし、家電リサイクル対象機器は除く。冷媒回収の費用は(○本工事・別途)とする。

・ 家電リサイクル  
対象機器は となる。なお、冷媒回収はポンプダウン方式とする。(リサイクル料金は本工事に含む)

・ 汚泥、汚水処理  
浄化槽及び排水槽内は汚泥・汚水を汲み取り、内部清掃を行う。ただし、汚泥・汚水・清掃洗浄水の回収、処分費は(・本工事・別途)とする。

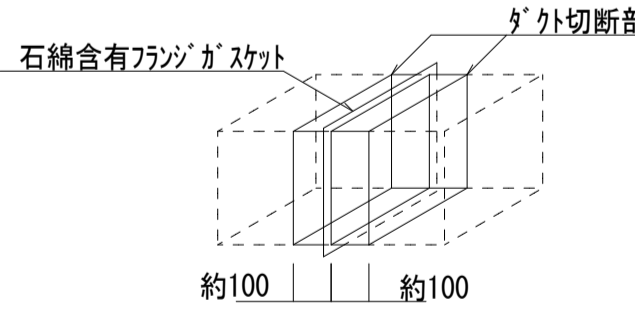
○ 屋外設備  
・ 給水装置  
・ 本管にて閉栓とする。  
・ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

○ 排水設備  
・ 本管にて閉止とする。  
○ 公設樹にてキャップ止めとする。

・ 都市ガス設備  
・ 本管にて閉栓とする。  
・ 敷地内第1弁を閉としプラグ止めの上、埋設標示杭設置とする。

○ 石綿含有製品処理  
ダクトフランジパッキン及び配管エルボ部保温材の処理方法は、以下による。撤去する長方形ダクトのフランジ部、配管のエルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ・エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。  
※配管、ダクト以外の解体方法は、関連する官公署、石綿作業主任者などに確認し法令に従い適切に処理を行うこと。

ダクトフランジ部撤去参考詳細図



- ダクトの切断に当たり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼りを行う。
- フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
- ダクト片側の切断終了後、フランジ部内部を外側同様、飛散防止処置として飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行い、もう片側の切断を行う。
- 切断したフランジ付ダクトは、ビニール袋等に詰め、構外搬出適切処理とする。



Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Contains sections for Construction Management (工事管理), Construction Safety (安全), Construction Quality (品質), and Construction Environment (環境).

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Contains sections for Construction Safety (安全), Construction Quality (品質), Construction Environment (環境), and Construction Management (工事管理).

Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Contains sections for Construction Safety (安全), Construction Quality (品質), Construction Environment (環境), and Construction Management (工事管理).

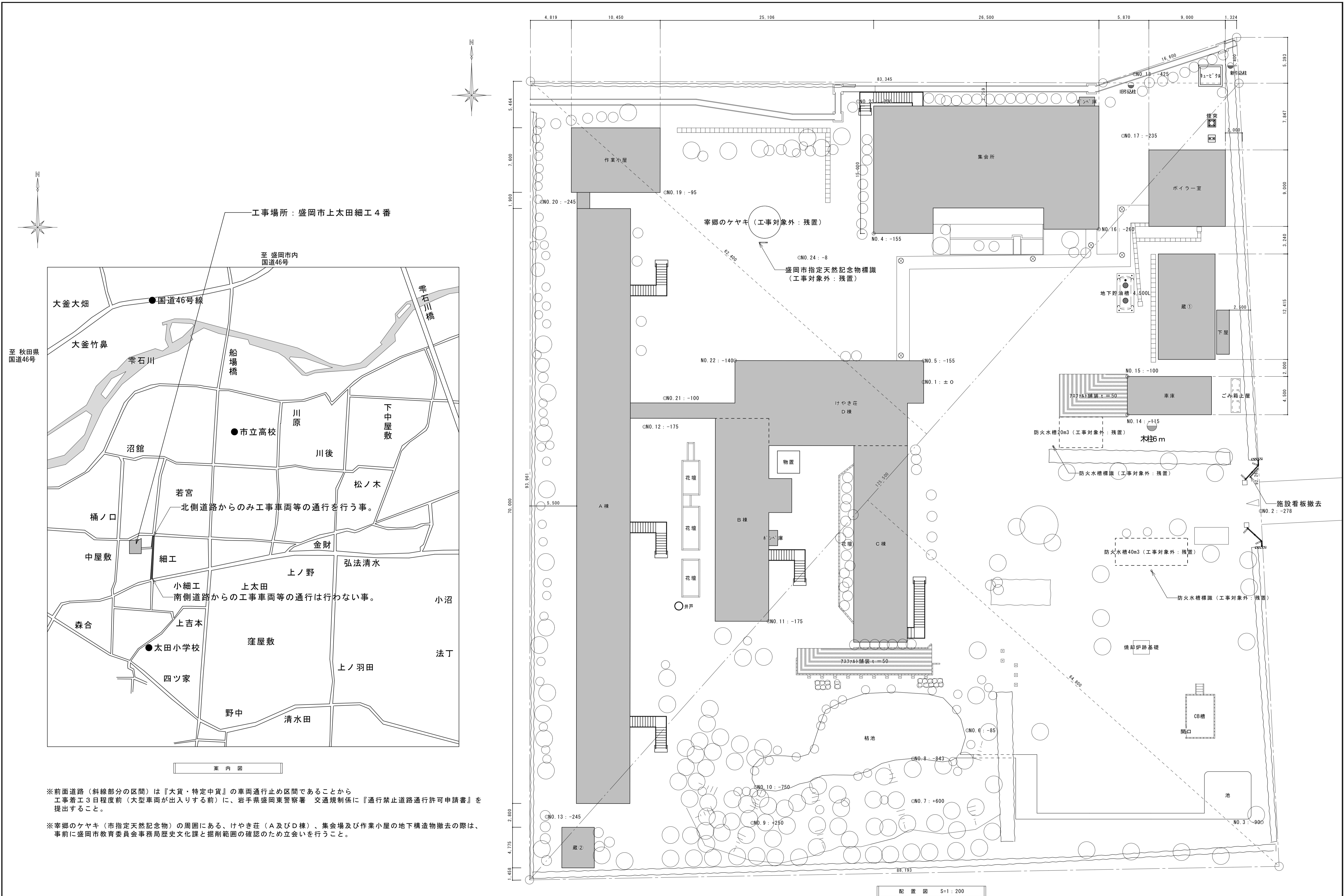
Table with 2 columns: Item (項目) and Remarks (特記事項). Contains sections for Construction Safety (安全), Construction Quality (品質), Construction Environment (環境), and Construction Management (工事管理).

Project Name: 盛岡市立けやき荘解体工事 (Morioka City Keiyakisato Demolition Work). Includes company logo and name.

Company Information: 伊五沢設計 (Igozaka Design). Includes address, phone number, and website.

Technical Details: 図面内容 (Drawing Content), 縮尺 (Scale), 枚数 (Number of Sheets), and 区分 (Division).

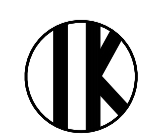
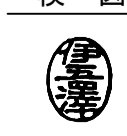
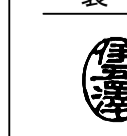
Project Details: 建物解体工事特記仕様書 4 (Demolition Work Special Specifications 4). Includes drawing number and scale.



※前面道路(斜線部分の区間)は『大貨・特定中貨』の車両通行止め区間であることから  
 工事着工3日程度前(大型車両が出入りする前)に、岩手県盛岡東警察署 交通規制係に『通行禁止道路通行許可申請書』を  
 提出すること。

※幸郷のケヤキ(市指定天然記念物)の周囲にある、けやき荘(A及びD棟)、集会所及び作業小屋の地下構造物撤去の際は、  
 事前に盛岡市教育委員会事務局歴史文化課と掘削範囲の確認のため立会いを行うこと。

配置図 S=1:200

工事名 盛岡市立けやき荘解体工事	 1級建築士事務所 有限会社 伊五沢設計 1級建築士登録 第285024号 伊五沢 和宣 盛岡市みたけ四丁目8番40号 TEL 019-(641)-5755	検 図  製 図 	特記 一級建築士 登録第306963号 伊五沢 直樹	図面内容 案内図・配置図(現況)	縮尺 S=1:200	図面番号 A97 枚ノ内 区 分 A 6 建築意匠
---------------------	--	---	-------------------------------	---------------------	---------------	--

外部仕上表

塔屋マネ	コンクリートスラブノ上	均しモルタル(付着アスベスト含有)+アスファルト防水(みなしアスベスト含有)+軽量コンクリートの上モルタル金網+合成ゴム系防水層t=1.2+塩化ビニル樹脂系シート防水t=1.5
A棟屋上	コンクリートスラブノ上	均しモルタル(付着アスベスト含有)+アスファルト防水(みなしアスベスト含有)+軽量コンクリートの上モルタル金網+合成ゴム系防水層t=1.2+塩化ビニル樹脂系シート防水t=1.5
B,C,D棟屋上	塔屋マネ仕様ト全棟トスル。但シC棟平家建部分ハA棟ト全棟トスル。(A-E)	
ボイラ-室マネ	コンクリートスラブノ上。ベストモルタル防水責任施工	
棟	A棟 東側	柱型, 外壁 ベーマ型砕コンクリート打放シ アクリルリシン吹付け仕上テ
	南側	全 上。 箱目地下地 アクリルリシン吹付け仕上テ
	西側	柱型, 外壁 ベーマ型砕コンクリート打放シ アクリルリシン吹付け仕上テ
	北側	全 上。 箱目地下地 アクリルリシン吹付け仕上テ
棟	B棟 東側	ベーマ型砕コンクリート打放シ アクリルリシン吹付け仕上テ
	南側	全 上
	西側	全 上
	北側	全 上 (D棟北側=全シ)
棟	C棟 東側	全 上
	南側	全 上
	西側	全 上
	北側	全 上 (D棟北側=全シ)
棟	D棟 東側	モルタル下地小ロタイル貼リ。一部 ベーマ型砕コンクリート打放シ アクリルリシン吹付け 軒天井 フレキシブルボード $\phi$ 4% 打上テ Vp.00
	南側	モルタル下地小ロタイル貼リ。一部 ベーマ型砕コンクリート打放シ アクリルリシン吹付け 軒天井 フレキシブルボード $\phi$ 4% 打上テ Vp.00
	西側	全 上
	北側	全 上
ボイラ-室	ベーマ型砕コンクリート打放シ アクリルリシン吹付け	
屋上 手摺	軽量型鋼 手摺 $\square-100 \times 50 \times 2^3$ 柱 $\square-40 \times 40 \times 2^3 \sim 100 \times 100 \times 2^3$ 手摺子 $\square-25 \times 25 \times 1.6$ (別図参照)	
バルコニー	バルコニー: コンクリートスラブノ上。 ベストモルタル金網+合成ゴム系防水層(並上り英) 笠木: カラ-トタン 0.4% 包ミ。 軒天井: コンクリートベーマ型砕打放シ アクリルリシン吹付け	
木-下	モルタル下地 100 x 100 角 床用 縦登タイル貼リ。 概流イ	
雨-種	厚肉塩化ビニルパイプ $\phi 100$	
ルー-ドレイン	屋上: アスファルト防水用L型ドレイン。 バルコニー: モルタル防水用L型ドレイン。	
バラベ-ト	笠木: カラ-トタン 0.4% 包ミ。	
バルコ-手摺	軽量型鋼 手摺 $\square-100 \times 50 \times 2^3$ 柱 $\square-40 \times 40 \times 2^3$ 手摺子 $\square-25 \times 25 \times 1.6$	
鉄骨階段	桁材 軽ミ $\square-300 \times 50 \times 4$ 柱 $\square-100 \times 100 \times 3^3$ 板根 地-3 $\phi$ 現場 筋鋼板。	
外部塗装	ボイラ-室, ステ-ル建具 op.01。 鋼管埋込 op.01。 他 鉄部ハ全テ op.01。	
けやき荘 建築廻りシ-リング	A棟: 油性シリコーン B棟: 油性コーキング(アスベスト含有建材) C棟: 油性コーキング(アスベスト含有建材) D棟: 油性コーキング(アスベスト含有建材)	
けやき荘 EXP.1部	アスファルト系目地材(みなしアスベスト含有建材) 詳細はA17参照	

※アクリルリシン吹付の除去方法は、『大気汚染防止法規則第16条の4 第六号一別表第7 三号-I及び石棉障害予防規則 第6条』により施工のこと。  
 ※アスベスト含有成形板(みなし含有含む)の除去方法は、『大気汚染防止法規則第16条の4 第六号一別表第7 四号-I・ロ及び石棉障害予防規則 第6条の2 第1項』により施工のこと。

作業レベル: レベル3  
 作業レベル: レベル3

【凡例】  
 例: □はアスベスト含有建材を示す

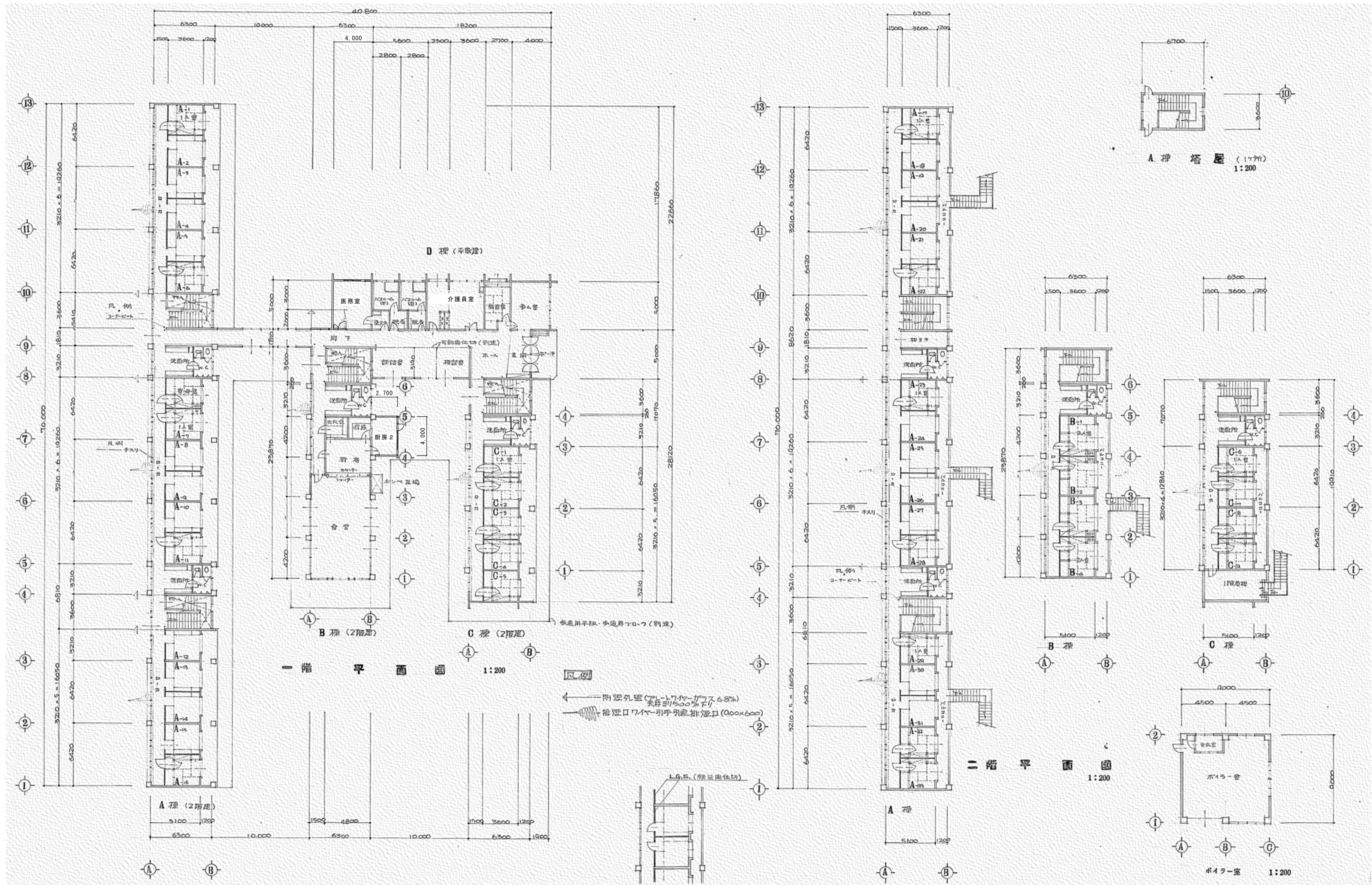
内部仕上表

室名	床	巾木	壁	天井	換気
玄関	モルタル下地 225×125 角床用磁器タイル貼付(500-916)	テラゾ-フロッグ貼付 H=160		モルタル金網下地再塗装アクリル吹付(キクスイ300ラウ)	石膏ボード 9×910×910 目隠し貼付 EP(2)ローラー仕上げ
ホール	モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込(接着工法)	ソフトヤ木 H=75		全 上	全 上
事務室	モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込(接着工法)	杉 OP(2) H=75		難燃内装合板 55×910×1820 目隠し貼付 コンクリート面 モルタル下地 5%ラウ仕上げ 木造同仕切 フラスコト 5%ラウ仕上げ	ミネラトン 300×600×2(面取) 貼付 タテ 3001号
直達室	木造床組 荒床 取付 12% タタミ敷付 一部化粧床取付			難燃内装合板 55×910×1820 目隠し貼付 コンクリート面 モルタル下地 5%ラウ仕上げ 木造同仕切 フラスコト 5%ラウ仕上げ	難燃化粧合板 55×440×2700 貼付 タテ 3001号
医務室	モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込(接着工法)	杉 OP(2) H=75		難燃内装合板 55×910×1820 目隠し貼付 コンクリート面 モルタル下地 5%ラウ仕上げ 木造同仕切 フラスコト 5%ラウ仕上げ	ミネラトン 300×600×2(面取) タテ 3001号
養老室	全 上	全 上		全 上	全 上
バスルーム(男)	モルタル下地 異型モザイクタイル貼付 一部テラゾ-フロッグ			モルタル下地 75×75 半磁器タイル貼付	スタイロフォーム 1バーチャス 15×200×200
浴室(女)	全 上	全 上		全 上	全 上
脱衣室(男)	モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込(接着工法)	ソフトヤ木 H=75		モルタル金網仕上げ VP(2)	全 上
浴室(女)	全 上	全 上		全 上	全 上
洗面室	モルタル下地 47×47 角モザイクタイル(無箱)貼付	モルタル金網仕上げ VP(2) H=100		全 上	石膏ボード 9×910×910 目隠し貼付 EP(2)ローラー仕上げ
相談室	モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込(接着工法)	ソフトヤ木 H=75		モルタル金網下地再塗装アクリル吹付(キクスイ300ラウ) 一部 可動向仕切 取付	全 上
談話室	全 上	全 上		全 上	全 上
食堂	全 上	杉 OP(2) H=75		モルタル金網下地 フラスコト吹付	ミネラトン キューブ 18×120×600 貼付 タテ 1021号
厨房	モルタル下地 75×75 角床用磁器タイル貼付		モルタル下地 75×75 半磁器タイル貼付 H=100	モルタル下地 フラスター仕上げ	石膏ボード 9×910×910 目隠し貼付 EP(2)仕上げ
更衣室	木造床組 荒床 取付 12% タタミ敷付 一部化粧床取付			コンクリート面 モルタル下地 5%ラウ仕上げ 木造同仕切 フラスコト 5%ラウ仕上げ	難燃化粧合板 55×440×2700 貼付 タテ 3001号
倉庫	モルタル金網仕上げ			モルタル金網仕上げ VP(2)	石膏ボード 9×910×910 目隠し貼付 EP(2)仕上げ
居室(1人室)	踏込モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込 木造床組 荒床 取付 12% タタミ敷付 一部化粧床取付	踏込モルタル金網仕上げ VP(2)		コンクリート面 モルタル下地 5%ラウ仕上げ L 1/2 厚仕上げ フラスコト 5%ラウ仕上げ	難燃化粧合板 55×440×2700 貼付 タテ 3001号
居室(2人室)	全 上	全 上		全 上	全 上
祭母室	全 上	全 上		全 上	全 上
物置	モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込(接着工法)	モルタル金網仕上げ VP(2)		モルタル金網仕上げ VP(2)	石膏ボード 9×910×910 目隠し貼付 EP(2)仕上げ
便所	モルタル下地 モザイクタイル(47×47)無箱貼付		モルタル下地 75×75 半磁器タイル貼付 H=1200	モルタル下地 フラスター仕上げ	石膏ボード 9×910×910 目隠し貼付 EP(2)ローラー仕上げ
洗面所	モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込(接着工法)		モルタル金網仕上げ VP(2) H=1800	モルタル金網仕上げ VP(2)	全 上
階校室	タテ、フミタミ、モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込(接着工法)	モルタル金網仕上げ VP(2) H=100		全 上	石膏ボード 9×910×910 目隠し貼付 EP(2)仕上げ
中支廊下	モルタル金網下地 ロンリユ-ム敷込(接着工法)	ソフトヤ木 H=75		コンクリート面 モルタル下地 5%ラウ仕上げ 木造同仕切 フラスコト 5%ラウ仕上げ コンクリート面 モルタル下地 5%ラウ仕上げ L 1/2 厚仕上げ フラスコト 5%ラウ仕上げ	石膏ボード 9×910×910 目隠し貼付 EP(2)ローラー仕上げ
一般廊下	全 上	全 上		全 上	全 上
ボイラー室	豆砂利コンクリート金網仕上げ	モルタル金網仕上げ VP(2) H=100		モルタル金網仕上げ VP(2)	木セメント根 20% 打上げ EP吹付
注記				LOS → 軽量型鋼製向仕切ラネス。	○ → 鋼製型保使用箇所ラネス。
階校室(内入)	モルタル金網仕上げ			モルタル金網仕上げ	モルタル下地 フラスター仕上げ

※アクリルリシン吹付の除去方法は、『大気汚染防止法規則第16条の4 第六号一別表第7 三号-I及び石棉障害予防規則 第6条』により施工のこと。  
 ※アスベスト含有成形板(みなし含有含む)の除去方法は、『大気汚染防止法規則第16条の4 第六号一別表第7 四号-I、ロ及び石棉障害予防規則 第6条の2 第1項』により施工のこと。

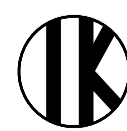
作業レベル: レベル3  
 作業レベル: レベル3

【凡例】  
 ○はアスベスト含有建材を示す



工事名

盛岡市立けやき荘解体工事



1級建築士事務所  
有限会社 伊五沢設計  
1級建築士登録 第285024号 伊五澤 和宣  
盛岡市みちや四丁目8番40号 TEL 019-(641)-5755

検図



製図



特記  
—級建築士 登録第306963号 伊五澤 直樹

図面内容【けやき荘】

平面図

縮尺

S=1:200

A97

枚ノ内

区分

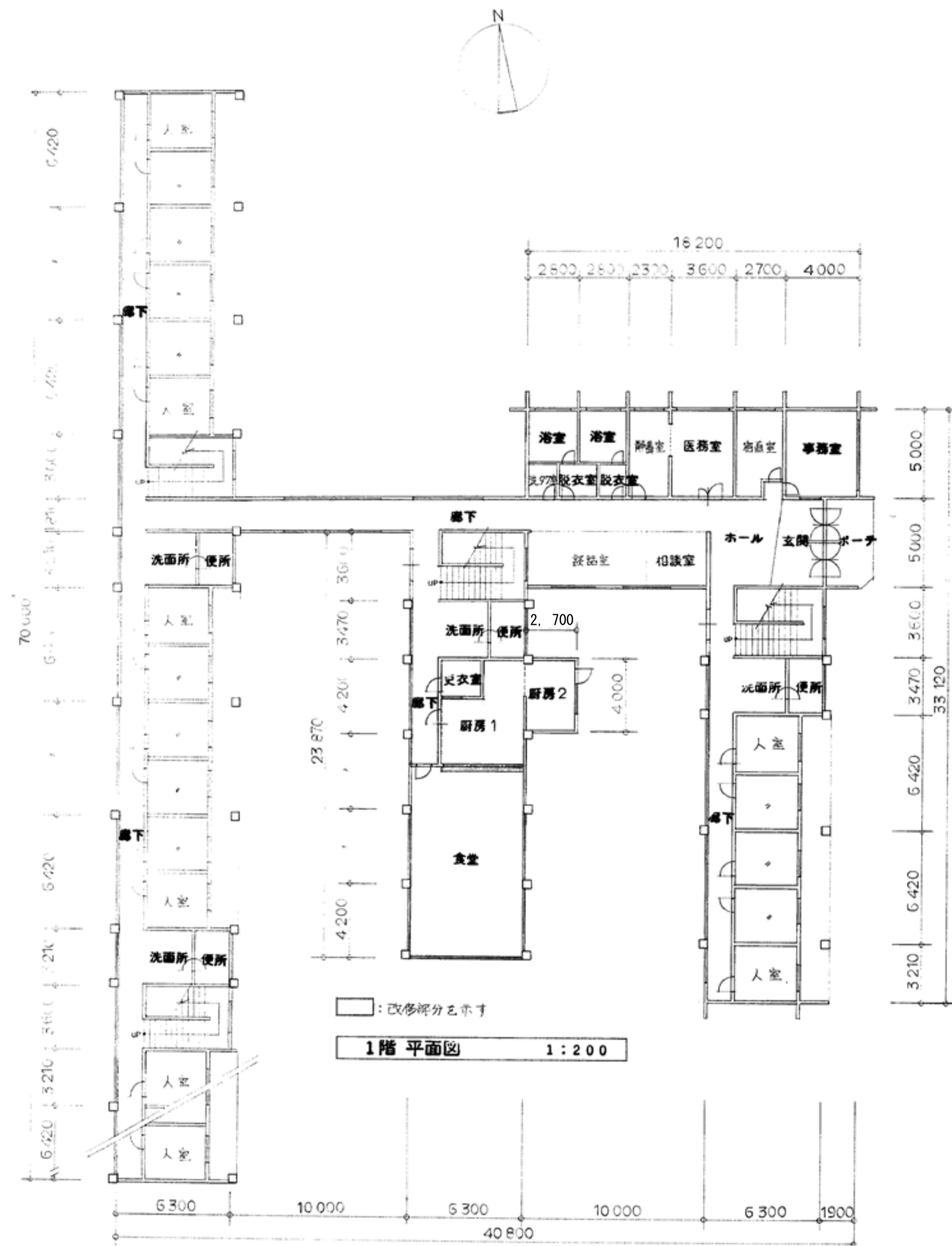
図面番号

区分

建築意匠

A 9

建築意匠



内部仕上表		食堂	厨房1	厨房2
床	改修前	モルタル金ゴテ下地 ロンリウム 敷	モルタル下地 磁器タイル貼	モルタル金ゴテ
	改修後	長尺塩ビシート <sup>®</sup> 2° 貼		
木	改修前	杉 OP差 H=75		
	改修後	OP差		
壁	改修前		モルタル下地 珪藻土タイル貼 H=1800	
	改修後			
窓	改修前	モルタル金ゴテ下地 ソラコト吹付	モルタル下地 プラスター-仕上げ	モルタル下地 プラスター-仕上げ
	改修後	ソラコト吹付	シーラー処理の上 防カビ塗料	シーラー処理の上 防カビ塗料
天井	改修前	ミネワトンキューブ <sup>®</sup> 9 <sup>®</sup> 300×600 貼 油紙 石こうボード <sup>®</sup>	石こうボード <sup>®</sup> 910×910 目張り貼 EP(2)	石こうボード <sup>®</sup> 910×910 目張り貼 EP(2)
	改修後	LGS下地、ロックウール化繊吸音材 <sup>®</sup> 12巻 油紙 石こうボード <sup>®</sup> 、天吊線・塩ビ		一部シーラー処理の上 防カビ塗料
その他	改修前			
	改修後	カーテンボックス 鋼線 OP差 シャッターボックス OP差	吊戸棚 OP差	ダクトOP差、鋼線・鋼線OP差 スチールコヤング処理

